

育まち自治会 第5回通常総会 質問状のご回答

2020年5月20日（水）

自治会員からの質問	役員会からの回答
育まちカーニバル¥900,000（費用計画を教えてください、現時点の）	3月から月1の打ち合わせを中止しており、3月の打ち合わせで概算費用を出す予定でしたが、コロナウイルスの影響で算出できてなく、いまだ打ち合わせをできてない状況です。5期でも開催できるかは現状不明です。
役員活動費¥30,000（想定使途を教えてください）	基本、渉外費用になります。一昨年自治連合会等の集まりで使用した事がございます。昨年度は発生しませんでした、念の為の費用になっております。また、今期又は来期にかけて3~5万の経費をかけて自治会の役員会、各実行委員が有志で参加して頂きました感謝も込めてその方々のご家族もお声がけさせていただき謝恩会を開きたいと思っております。
助成金支給額¥200,000（各項目別に、予定金額と設定経緯をおしえてください）1. 助成金支給費について助成金支給にあたってのルール（支給対象や支給金額の基準など）、また、第5期の予算の増額の理由について教えてくださいいただけます。	前期実績（CRクラブ申請にたいし、規定どおり1世帯3600円 x 15世帯 = 54000円支給しました。）に関しては別途資料をつけさせていただきます。CRクラブの活動報告は自治会ニューズレターで写真入り報告されていますので、ご了解ください。また増額に関しては、予算に明記してあります通り、前期1団体のみ今期3団体を予定しております（申請書をH.P.にアップいたします）。自治会のHPで育まち自治会助成金支給規定に関してはH.P.にアップされております。
業務委託費、広報関係業務委託費の内容（委託先の選定、委託内容と経費）について教えてくださいいただけます。	自治会支援という特異な支援に関して大和ハウス・ライフ・ネクスト社が育まちの成り立ちも含め理解しており、なにより委託という観点で元々協議会の支援をしている点で委託先に選定いたしました。住友不動産サービスにもお声がけいたしましたが、自治会支援はできないと回答を頂きました。またこの案件に関しては前期から始める予定でしたが、先方の事情もあり、先延ばし後のコロナウイルスの騒ぎで今期もいつから始めるのか決まっておりません。内容に関しては役員会の議案書作成、議事録作成、口座管理、配布物の印刷などを仮ですが考えております。今後これらに関しては大和ハウス・ライフ・ネクスト社と交渉し決定していく予定でございます。
第5期についても事業計画として美南祭を企画していますが、関連して、同時期に開催されている「吉川市民まつり」について、「育まち自治会」として、どのように関わっているのか、「美南祭」との関連において、今後の展望美南祭などについて考え方を教えてください。美南祭について今年度50万から80万になっている（60%UP）この根拠を、明確にしてください。	美南祭と吉川市民まつりは偶発的に同時期開催になっただけです。美南祭に関しては任意の参加になります。前期の予算は100万でしたが、実績が50万だったので80万まで下げて調整しております。育まち全体の参加数に左右されますのでご理解お願いいたします。「吉川市民祭り」は育まち自治会に対して参加要請もないので、自治会としては関わりはございません。また美南祭・市民体育祭に関しては美南小学校の学区内の美南自治連合会によって運営されております。

<p>繰越金の考え方について</p> <p>(1) 協議会よりの活動支援金が、4期実績3,250,000 となっていますが、5期予算が0となっている理由、</p> <p>(2) 収入小計が、4期実績5,491,235となっているが5期予算が2,443,700となり、大きく乖離している理由</p> <p>(1) (2)ともに、繰越金の予算上の取り扱いに関するものと思われます。</p> <p>予算立案に関して、また、自治会の保有財産としての繰越金の考え方について、教えていただければと思います。</p>	<p>育まち自治会予算は、まず初めに事業計画にいくらかかるかを算出し、次に吉川市からの交付金を予想し、不足分を、協議会より活動支援金として請求します。(1)5期事業計画費用は、吉川市の地域自治振興交付金(1世帯1100円×1482世帯+70,000円=1,700,200円)、自治会活動補助金743,500円(50%補助規定)及び、繰越金で賄えるので、協議会よりの活動支援金は0となります。(2)4期未達項目があり繰越金が多くなり、本来協議会にもどすべきとかがえませんが、5期に繰り越す方法を採用しました。結果、協議会よりの活動支援金が0となります。繰越金は本来ない方が良いと思います。認可地縁団体になる前は臨時総会が開催できました。以前予算が足りない場合は、臨時総会を開いて予算修正を行い、協議会に追加支援をお願いして、不足する分の予算に対応することができました。認可地縁団体になってから予算不足で臨時を開催するのは出来なくなったことにより、予定より多めの予算を組むことで予算不足を回避せざるを得ませんでした。育まち自治会は出来たばかりの自治会で、古くからある自治会の様に毎年あまり変わらない予算と言うようにはいきません。今後予算を含め自治会運営のノウハウを蓄積することで解決できると思います。</p>
<p>協議会よりの活動支援金の減額と市から補助金の増額理由の説明を摘要、備考に明記してほしい</p>	<p>昨年度はカーニバルの日程の変更や大和ハウス・ライフ・ネクスト社の委託不可等で予算が大幅に使用しない状態になり今期に繰越金になりました。また市からの補助金は住民の数に比例いたしますのでシティテラスの住民が増えた結果になります。</p>
<p>5期の役員・監事様ですが、全ての組合で理事会の方または留任・立候補の方で組織されていらっしゃいますが、今年度はコロナウイルスの関係で通常のローテーションの方が役員にならずに6期以降にスライドするという解釈でよろしいでしょうか。宜しければご教授いただければ幸いです。</p>	<p>立候補以外の方は通常のローテーションで役員を務めていただいております。ただ自治会役員と管理組合の理事の二足の草鞋は大変難しく、今回自治会支援を役員とは別途で管理組合の方をお願いしております。その分自治会役員の方の負担を減らす方向で今回組織作りをいたしました。留任や立候補の方は有志の集まりになります。管理組合と自治会との繋がりは必要ですが、管理組合から自治会への人員派遣は強制ではなく依頼になります。自治会自体は将来的には有志の方々が構成できるのが理想形になります。まだまだ若い自治会なので皆さんに理解され、たくさんの方が自治会の活動に参加される事を望んでおります。</p>